



Joy for Life

2024年3月期（2023年度） 第2四半期決算概況

2023年11月15日

株式会社 J-オイルミルズ

問い合わせ先：

経営推進部 Tel. 03-5148-7101

Agenda

1 2023年度 上期決算概況

2 2023年度 通期業績予想および今後の取り組み

3 参考資料

2023年度上期 連結業績概要

(億円)	2022年度 上期実績	2023年度 上期実績	前年同期比	上期 8/9修正予想	上期 8/9修正予想 進捗率
売上高	1,229.7	1,246.7	101.4%	1,250.0	99.7%
営業利益	▲1.5	49.4	-	35.0	141.1%
経常利益	▲0.2	50.2	-	36.0	139.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	▲1.6	34.2	-	23.6	145.1%

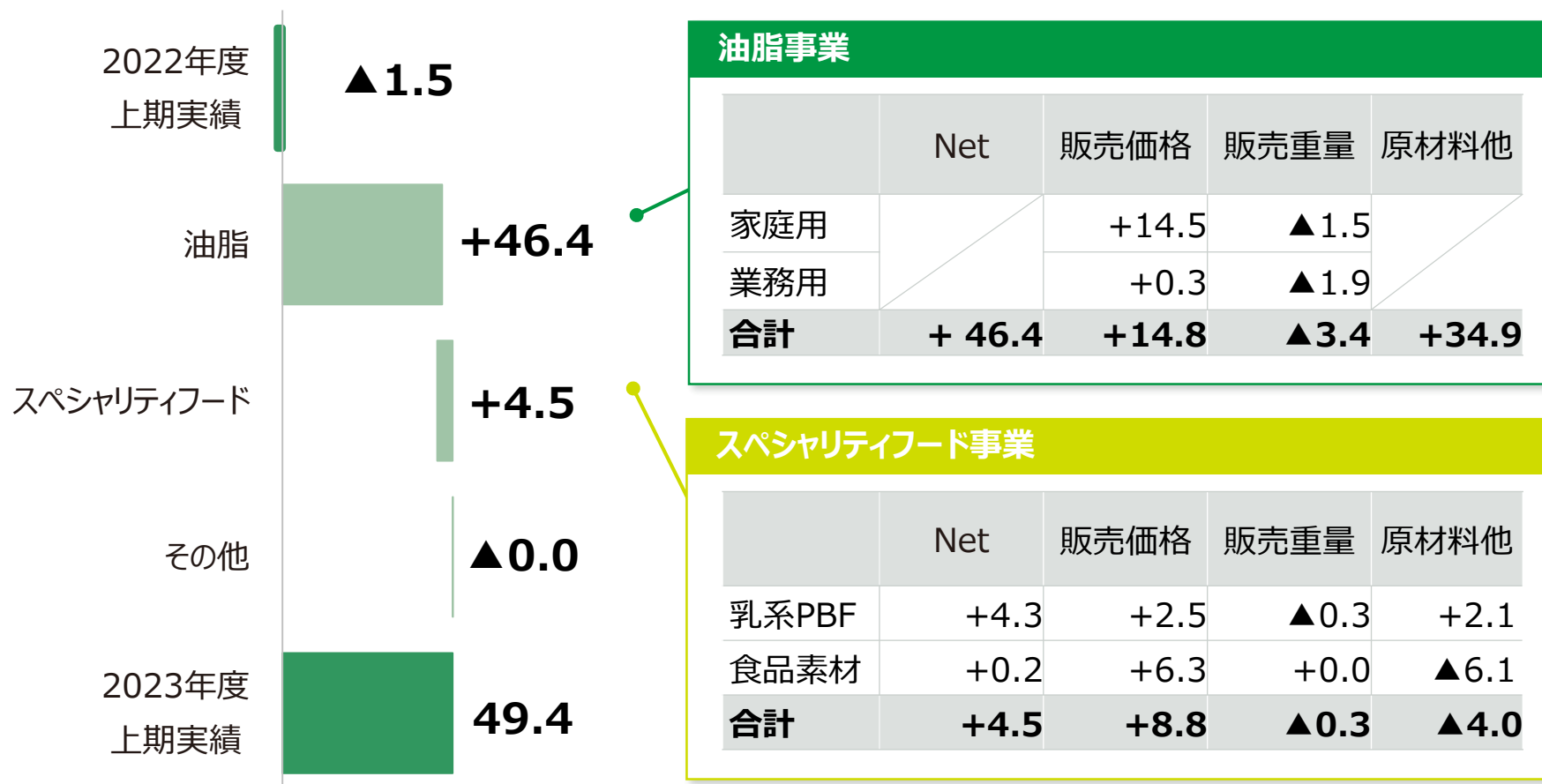
2023年度上期 セグメント別業績

(億円)	2022年度 上期実績	2023年度 上期実績	前年同期比
売上高			
油脂事業	1,112.8	1,128.4	101.4%
スペシャルティフード事業	112.0	113.2	101.1%
(内乳系PBF)	67.2	62.2	92.5%
(内食品素材)	44.7	51.0	114.1%
その他事業	4.9	5.1	104.5%
連結合計	1,229.7	1,246.7	101.4%
営業利益			
油脂事業	3.3	49.7	1,488.4%
スペシャルティフード事業	▲5.6	▲1.1	-%
(内乳系PBF)	▲6.3	▲2.0	-%
(内食品素材)	0.7	0.9	124.6%
その他事業	0.8	0.8	99.7%
連結合計	▲1.5	49.4	-%

2023年度上期 営業利益増減益分析

前年同期比較

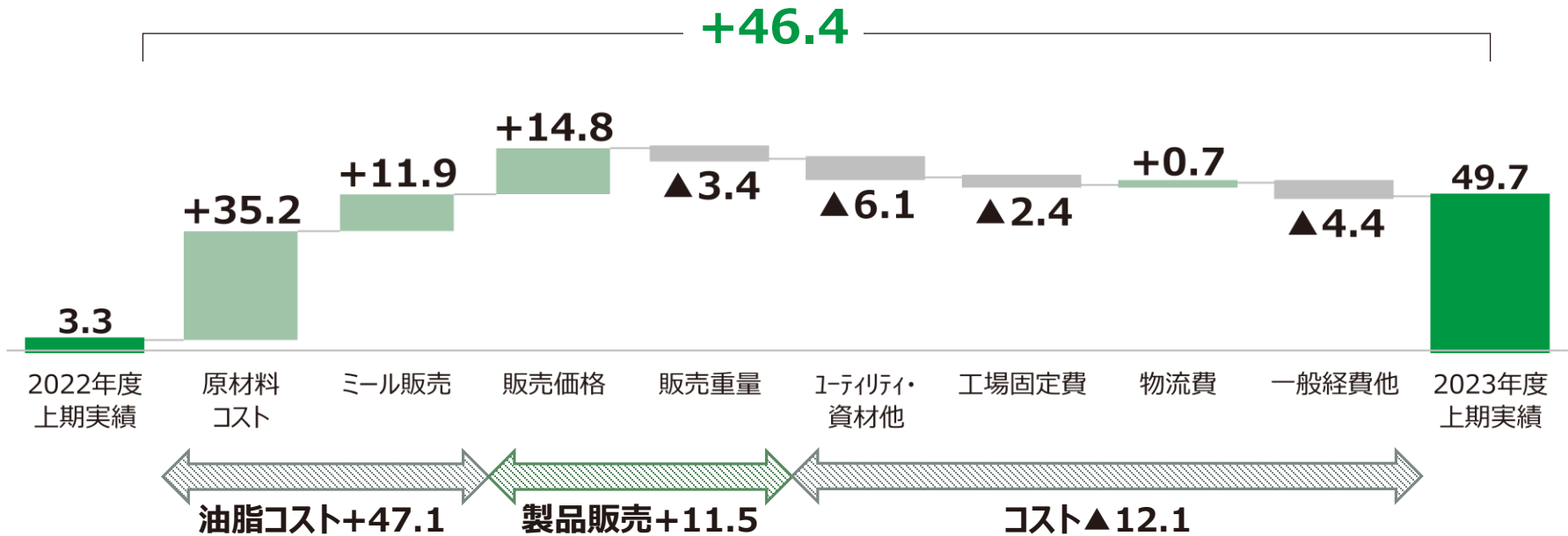
(億円)



2023年度上期 油脂事業 営業利益増減分析

前年同期比較

(億円)



項目	内容	増減額 (億円)
原材料コスト	大豆	+38.6
	菜種	+132.8
	為替	▲71.9
ミール販売	販売単価	+11.9
	販売重量	+0.0
	購入油	▲12.3
	在庫影響他	▲52.0

項目	内容	増減額 (億円)
1-ティリティ・資材他	1-ティリティ	+0.1
	資材他	▲6.2
一般経費他	人件費	+1.5
	広告費	+0.1
	販促費	▲0.1
	その他	▲5.9

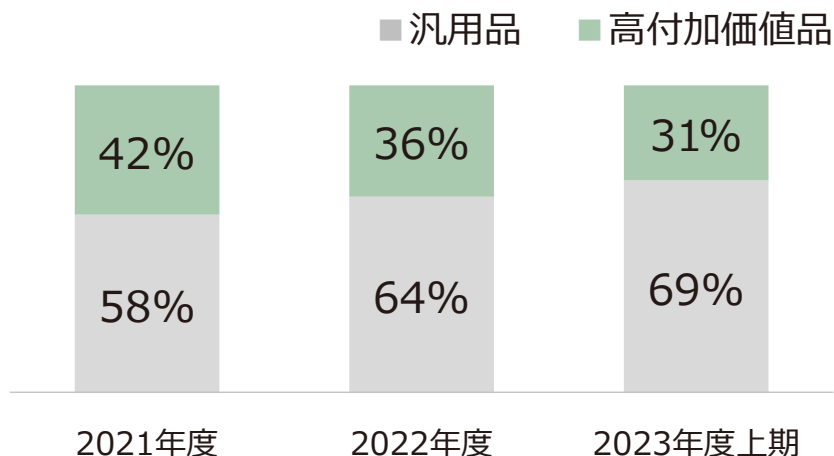
*為替・・・22年度上期:123円/1ドル、23年度上期:135円/1ドル (期中平均レート)

高付加価値品

高付加価値品連結売上高・粗利益 (億円)

		2022年度 上期	2023年度 上期	前年 同期比	
売上高	油脂事業	家庭用	67.5	75.3	111.6%
		業務用	201.5	205.8	102.1%
		合計	269.0	281.1	104.5%
	スペシャルティフード事業	53.1	55.9	105.4%	
	高付加価値品合計	322.1	337.1	104.6%	
粗利益		47.5	57.1	120.3%	
粗利益率		14.7%	17.0%	+2.2ppt	

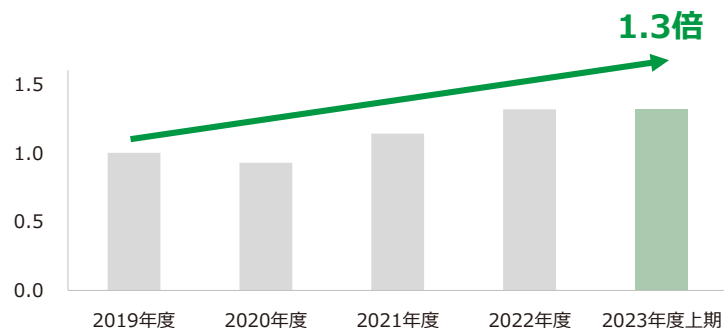
連結粗利構成比推移



主な高付加価値品の売上高構成比



長持ち油SUSTEC®シリーズの販売重量推移



2019年度を1として算出
2023年度上期のみ2019年度上期を1として算出

※2023年度より、高付加価値品の定義を一部変更（過去遡及適用済）

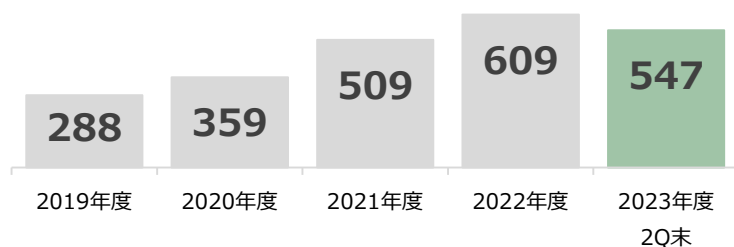
B/Sの状況

連結貸借対照表

	22年期末	23年2Q末	増減
流動資産	1,108	1,048	▲60
現預金	24	38	+13
売上債権	443	427	▲16
棚卸資産	609	547	▲62
その他	32	36	+4
固定資産/繰延資産	678	675	▲3
有形・無形資	541	529	▲13
投資その他	137	146	+9
資産計	1,786	1,723	▲64

棚卸資産の推移

(億円)

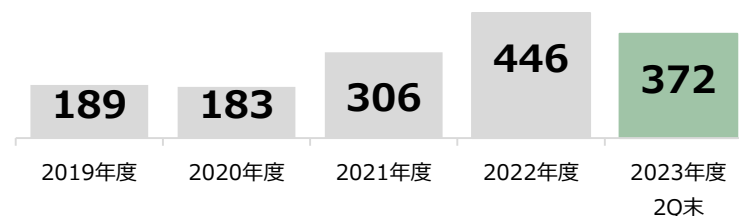


(億円)

	22年期末	23年2Q末	増減
負債	844	735	▲109
仕入債務	182	147	▲35
有利子負債*	446	372	▲74
引当金	44	44	▲0
その他	171	171	+0
純資産	943	988	+45
株主資本	898	929	+31
包括利益他	41	55	+14
非支配株主持分	4	4	+0
負債・純資産計	1,786	1,723	▲64

有利子負債*推移

(億円)

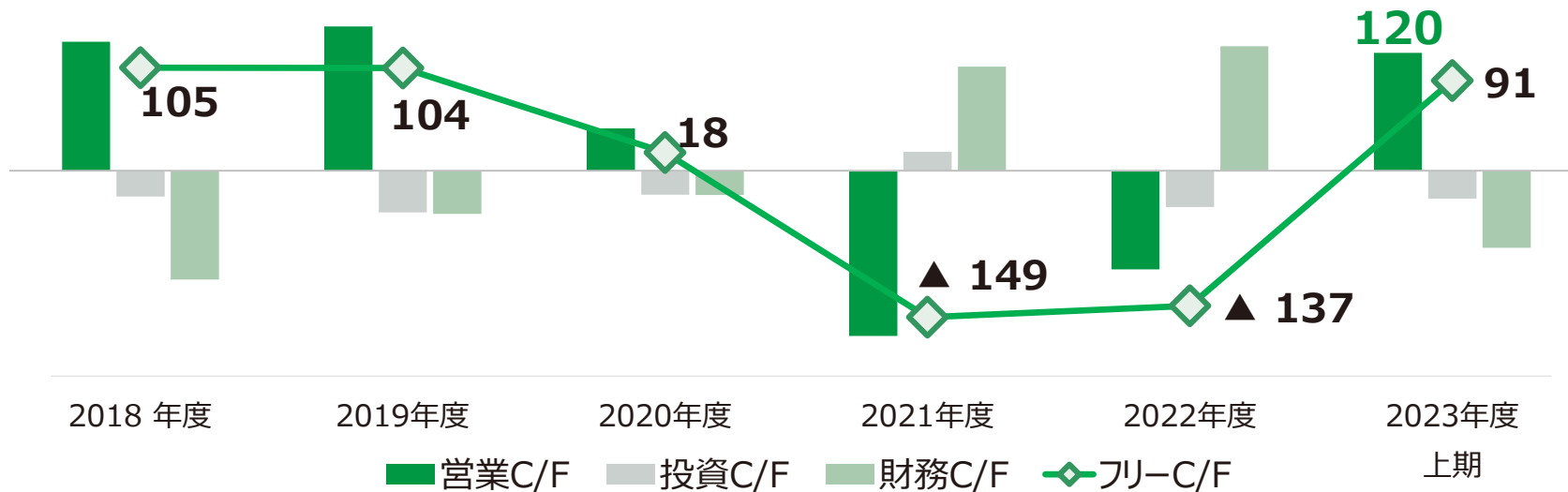


*有利子負債・・・社債と借入金の合計値を使用

C/F・設備投資

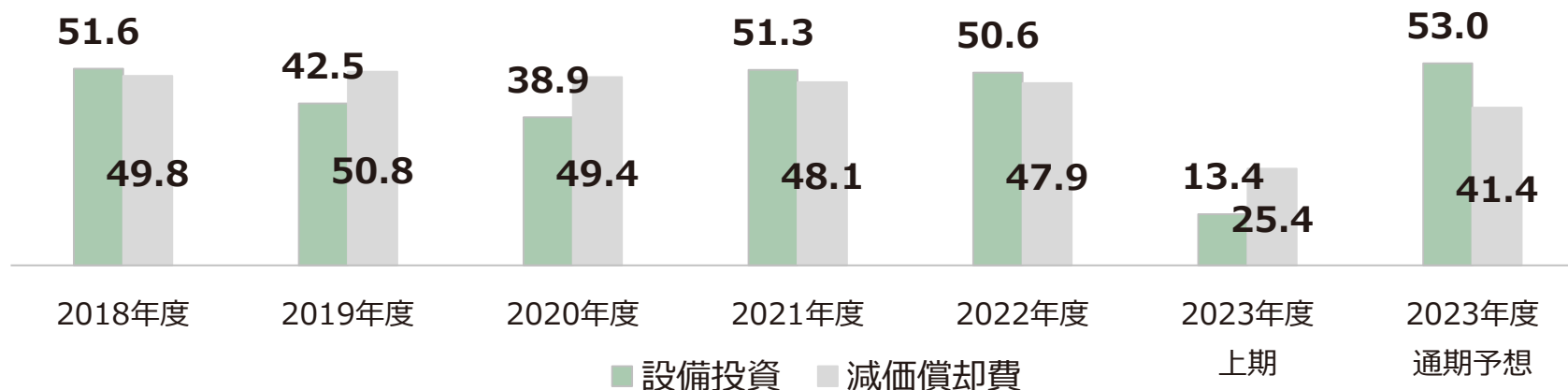
キャッシュフロー推移

(億円)



設備投資の状況

(億円)



Agenda

1 2023年度 上期決算概況

2 2023年度 通期業績予想および今後の取り組み

3 参考資料

2023年度 連結業績予想修正

(億円)	2022年度	2023年度			2023年度		
	通期実績	上期実績	下期 11/9 修正予想	通期 11/9 修正予想	上期 8/9 修正予想	下期 8/9 修正予想	通期 8/9 修正予想
売上高	2,604.1	1,246.7	1,203.3	2,450.0	1,250.0	1,250.0	2,500.0
営業利益	7.3	49.4	20.6	70.0	35.0	5.0	40.0
経常利益	14.4	50.2	19.8	70.0	36.0	8.0	44.0
親会社株主に 帰属する当期純利益	9.9	34.2	15.8	50.0	23.6	7.8	31.4
営業利益率	0.3%			2.9%			1.6%
ROE	1.0%			5.0%			3.3%
ROIC	0.4%			3.5%			2.1%
EPS	29.8			151.2			94.9

2023年度 セグメント別業績予想修正

	2022年度 通期実績 (億円)	2023年度 11/9 修正予想			2023年度 8/9 修正予想 通期
		通期	前年同期差	前年同期比	
売上高					
油脂事業	2,365.1	2,205.0	▲160.1	93.2%	2,255.0
スペシャルティフード事業	228.5	235.0	+6.5	102.9%	236.0
(内乳系PBF)	135.2	130.0	▲5.2	96.1%	131.0
(内食品素材)	93.3	105.0	+11.7	112.6%	105.0
その他事業	10.5	10.0	▲0.5	95.3%	9.0
連結合計	2,604.1	2,450.0	▲154.1	94.1%	2,500.0
営業利益					
油脂事業	13.9	69.2	+55.3	496.3%	40.0
スペシャルティフード事業	▲8.2	0.0	+8.2	-	0.0
(内乳系PBF)	▲10.1	▲3.0	+7.1	-	▲4.0
(内食品素材)	1.9	3.0	+1.1	156.4%	4.0
その他事業	1.6	0.8	▲0.8	51.6%	0.0
連結合計	7.3	70.0	+62.7	953.2%	40.0

第六期中期経営計画達成に向けて

早期に2020年度以前の利益水準まで戻していく

外部環境に応じた
適正価格での販売

価値に見合った価格形成

商品ミックスの改善

高付加価値商品の
粗利益構成比増

不採算事業
収益化

マーガリン事業
2023年度利益貢献

2023年度通期
営業利益予想

70億円

2023年度上期
粗利益構成比

-8.3%※

※2020年度高付加価値品の粗利構成比との差
2020年度:39.3%、2023年度上期:31.0%

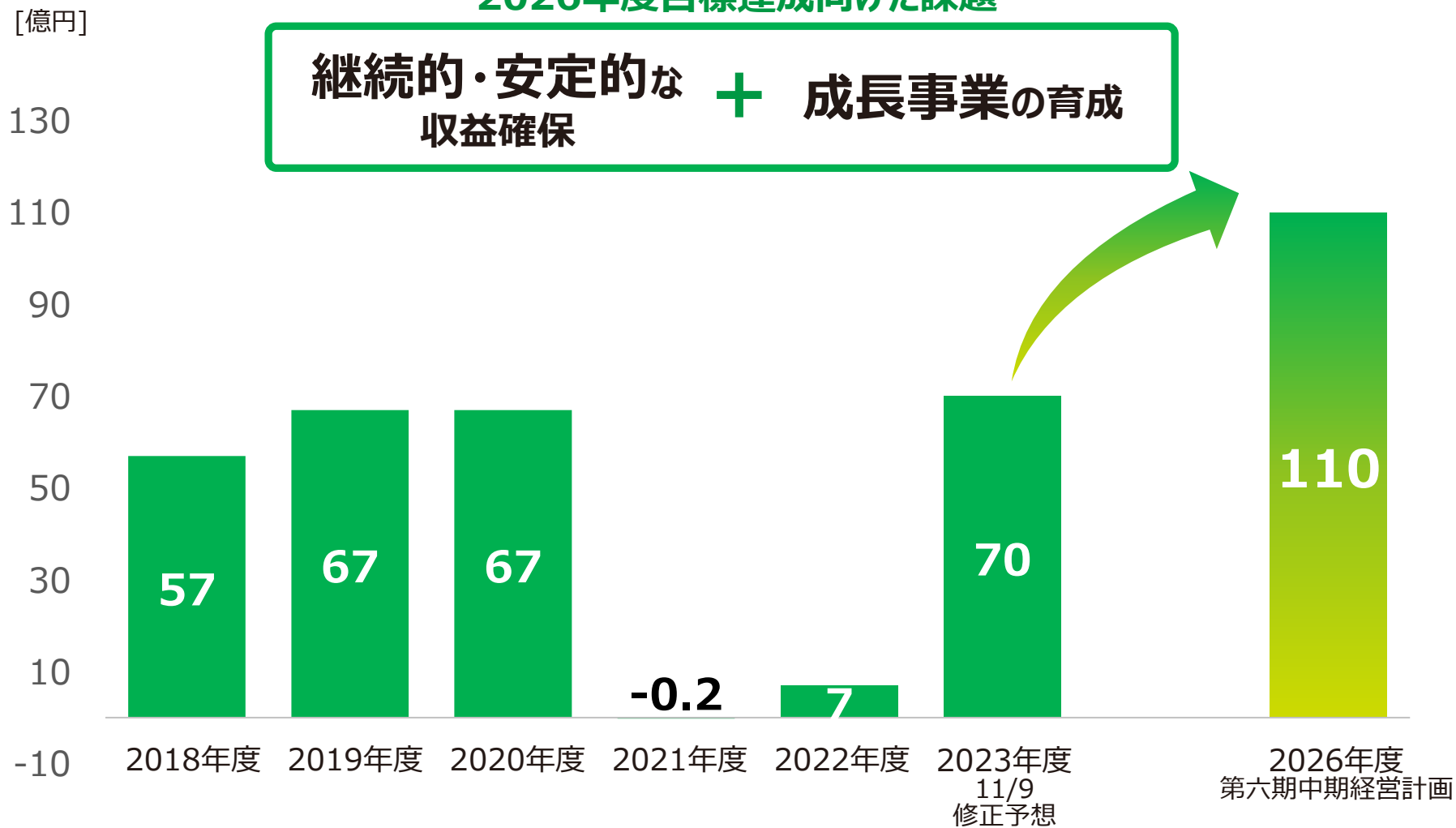
2023年度通期
営業利益

黒字化目標

営業利益の推移

2026年度目標達成に向けた課題

継続的・安定的な収益確保 + 成長事業の育成



企業価値の現状評価

現状評価

株主資本コスト

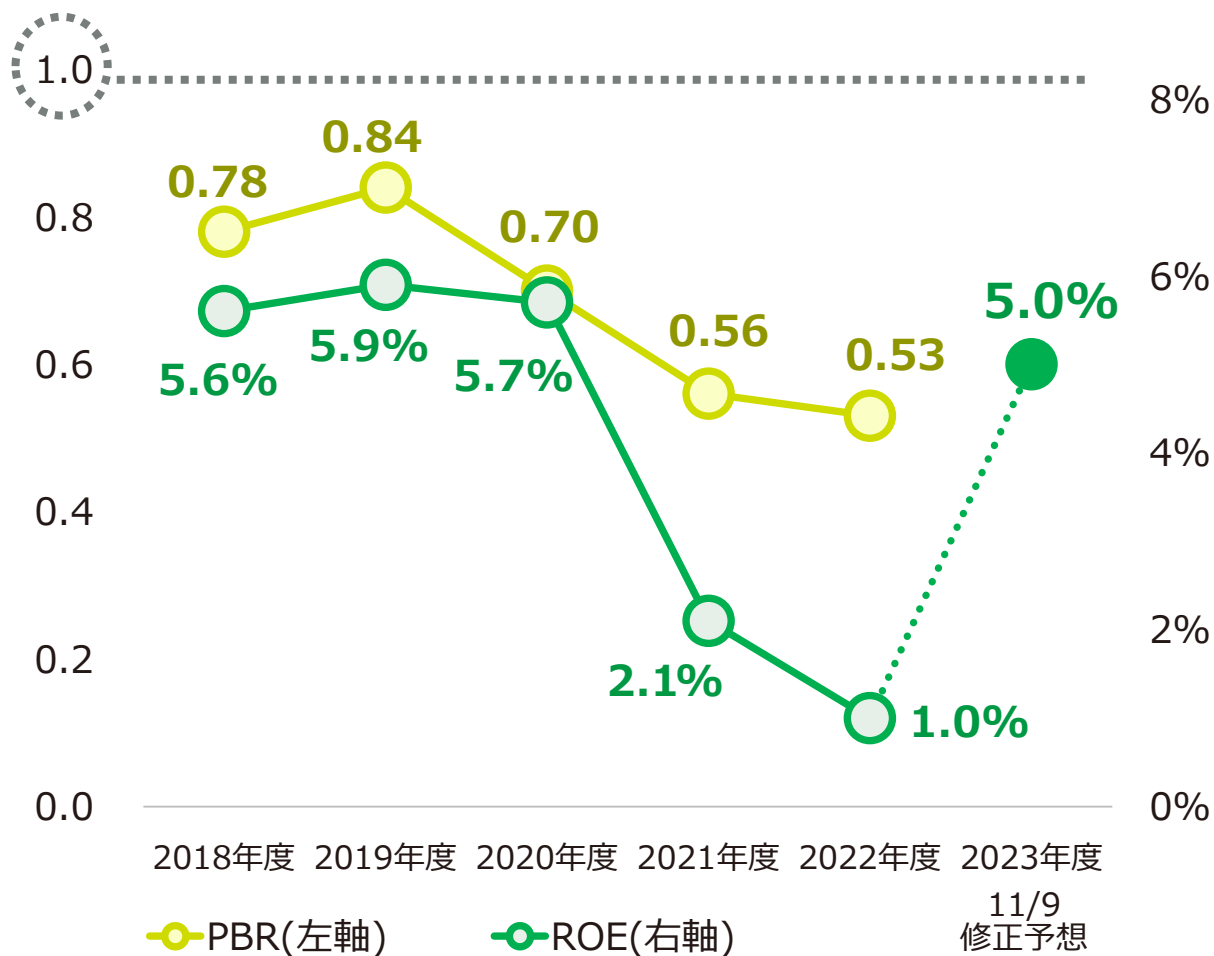
6-7%*

期待成長率

成長戦略の
実現が必要

※: 当社の認識する株主資本コスト
(CAPMベース)

PBR・ROEの推移



企業価値向上に向けた取り組み

方針・目標

- 第六期中期経営計画で掲げた財務目標の達成
- 将来に向けた積極的な成長投資と安定的な株主還元

財務目標

営業利益	ROE	ROIC	EPS
110億円	8.0%	5.0%	260円

取り組み

成長戦略

- “低負荷”を強みとした成長ドライバーとなる商品の育成/拡売
- 国内油脂市場における当社シェアの拡大
- 海外事業の強化

構造改革

- SCM※改革・生産拠点の最適化
- 経営資源の成長事業へのシフト
- 不採算事業の収益化

財務戦略

- 資産圧縮の推進（政策保有株式・遊休資産の売却、在庫圧縮）
- オーガニック、インオーガニック成長機会の両面で積極投資

※SCM(Supply Chain Management):サプライチェーンマネジメント

将来の成長に向けた取り組み – 国内油脂事業 –

提供価値

おいしさデザイン®

長持ち・経時劣化
抑制機能の提供

おいしく
人・環境にやさしい
食生活へ貢献

味と機能性を
両立する
ソリューション

資源の有効活用・
再利用の促進

マテリアリティに基づく開発重点テーマ

具体的な取り組み

業務用油脂

家庭用油脂

1 業務用油脂：CFP※1マーク取得品目の拡大



- 「長徳®」シリーズのCFPマーク取得品目：
16品目

今回新たに取得した「すごい長徳®」

2 スマートグリーンパック（SGP）の拡売

- 家庭用：全国配荷店舗数：**3.2**倍※2
- 業務用：2024年1月 新発売

新発売



家庭用SGP



業務用SGP

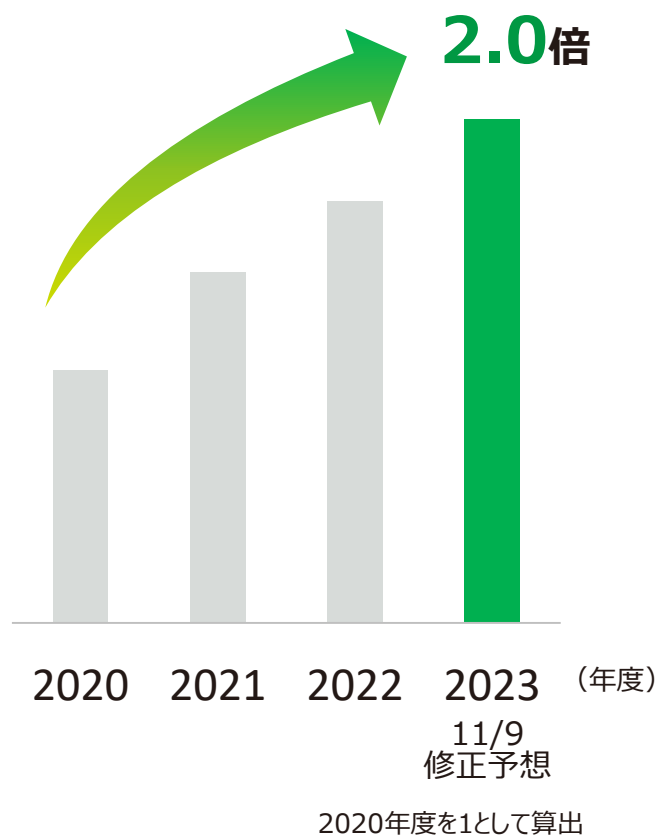
3 ダブルハーフの新発売による新たな価値提供



- 2023年8月 全国発売
- 使用量と油ハネが半分になるため、
財布にやさしく、家事負担も削減

将来の成長に向けた取り組み – 海外 –

海外事業の売上高増加率



2026年度目標達成に向けた取り組み

既存事業
の成長

- Soyシート、ビタミンK2の競争力向上・市場開拓
- 海外子会社・関連会社の活用と拡大

+

非連続
成長

- 北米・ASEANなど既存地域・事業とのシナジーについて総合的に検討

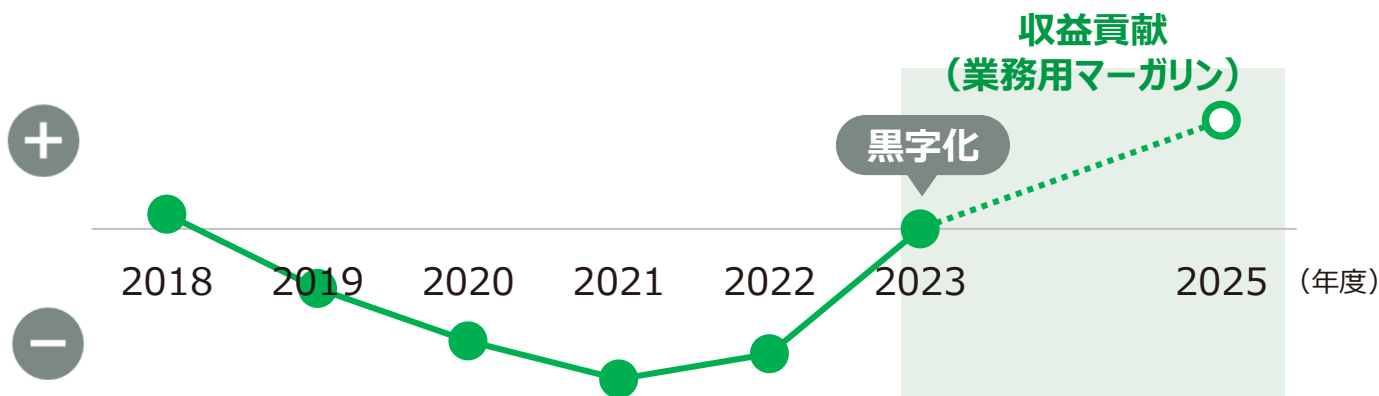
事業基盤強化

海外事業部の新設による推進力強化

構造改革

マーガリン事業の営業利益推移イメージ

マーガリン
事業の
収益改善



家庭用

業務用

市場の見通し

減少

増加*

対応策

事業撤退

海外子会社の活用
による収益力強化

日清オイリオ
との取り組み



- 2023年10月2日
製油パートナーズジャパン株式会社設立

※国内、ASEANを含めて需要は増加すると想定

キャピタルアロケーション計画 (FY2022-FY2026)

キャッシュイン

営業キャッシュフロー 180 億円	資産圧縮 50 億円	外部資金調達 240~470 億円※
-----------------------------	----------------------	------------------------------

総額 **470~700**億円

キャッシュアウト

設備投資 220 億円	事業投資 140~370 億円	配当還元 110 億円
-----------------------	---------------------------	-----------------------

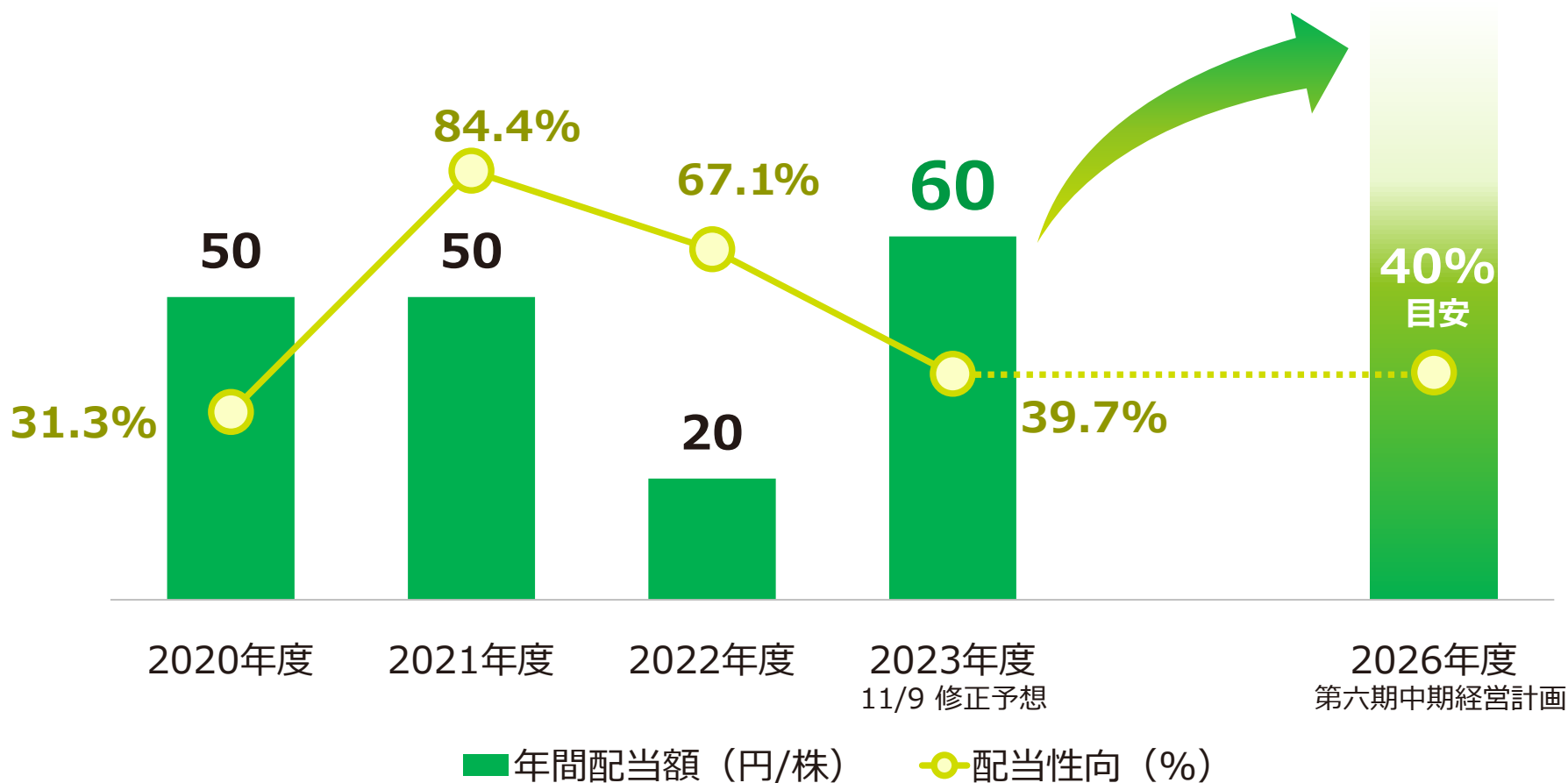
オーガニック、インオーガニック成長機会の両面で積極投資

※D/ELシオ 0.5~0.7倍

株主還元

基本方針

連結配当性向**40%**を目安とした安定的な配当



Agenda

1 2023年度 上期決算概況

2 2023年度 通期業績予想および今後の取り組み

3 参考資料

2023年度上期 営業利益増減分析詳細

営業利益 前年同期比較

(億円)

	2022年度 上期実績	2023年度 上期実績	対前年同期 増減	詳細
油脂事業	3.3	49.7	+46.4	
家庭用				販売価格:+14.5、販売重量:▲1.5
業務用				販売価格:+0.3、販売重量:▲1.9
スペシャルティフード事業	▲5.6	▲1.1	+4.5	
乳系PBF	▲6.3	▲2.0	+4.3	販売価格:+2.5、販売重量:▲0.3
食品素材	0.7	0.9	+0.2	販売価格:+6.3、販売重量:+0.0
その他	0.8	0.8	▲0.0	
総計	▲1.5	49.4	+50.9	

油脂事業 営業利益増減分析詳細

	対前年同期 増減額	詳細
製品販売	+11.5	
販売価格	+14.8	汎用品:▲0.1、高付加価値品:+14.9
販売重量	▲3.4	汎用品:▲2.4、高付加価値品:▲1.0
参考) 高付加価値品	+13.9	家庭用: +9.3、業務用:+4.6
油脂コスト	+47.1	
原料コスト	+35.2	大豆:+38.6、菜種:+132.8、為替:▲71.9、購入油:▲12.3、在庫影響他:▲52.0
ミール販売	+11.9	販売価格:+11.9、販売重量:+0.0
その他コスト	▲12.1	
1-ティリティ・資材他	▲6.1	1-ティリティ: +0.1、資材他: ▲6.2
工場固定費	▲2.4	
物流費	+0.7	
一般経費他	▲4.4	人件費:+1.5、広告費:+0.1、販売促進費:▲0.1、その他:▲5.9

*為替・・・22年度上期:123円/1ドル、23年度上期:135円/1ドル (期中平均レート)

2023年度通期修正業績予想 営業利益増減分析詳細

営業利益 前年同期比較

	2022年度 実績	2023年度 11/9 修正予想	対前年同期 増減	詳細
油脂事業	13.9	69.2	+55.3	
家庭用				販売価格:+20.3、販売重量:▲2.7
業務用				販売価格:▲101.4、販売重量:▲2.1
スペシャリティフード事業	▲8.2	0.0	+8.2	
乳系PBF	▲10.1	▲3.0	+7.1	販売価格+2.3、販売重量:▲1.4
食品素材	1.9	3.0	+1.1	販売価格:+8.6、販売重量:▲0.1
その他	1.6	0.8	▲0.8	
総計	7.3	70.0	+62.7	

(億円)

油脂事業 営業利益増減分析詳細

	対前年同期 増減額	詳細
製品販売	▲85.9	
販売価格	▲81.1	汎用品:▲83.6、高付加価値品:+2.5
販売重量	▲4.8	汎用品:▲2.7、高付加価値品:▲2.1
参考) 高付加価値品	▲0.9	家庭用:+24.4、業務用:▲24.1
油脂コスト	+149.7	
原料コスト	+160.6	大豆:+88.4、菜種:+239.4、為替:▲103.2、購入油:▲26.9、在庫影響他:▲37.2
ミール販売	▲10.9	販売価格▲5.5、販売重量:▲5.4
その他コスト	▲8.5	
1-ティリティ・資材他	+6.6	1-ティリティ: +12.7、資材他: ▲6.2
工場固定費	▲3.6	
物流費	+3.3	
一般経費他	▲14.8	

*為替・・・22年度:131円/1ドル、23年度11/9修正予想:140円/1ドル(期中平レート)

原料動向

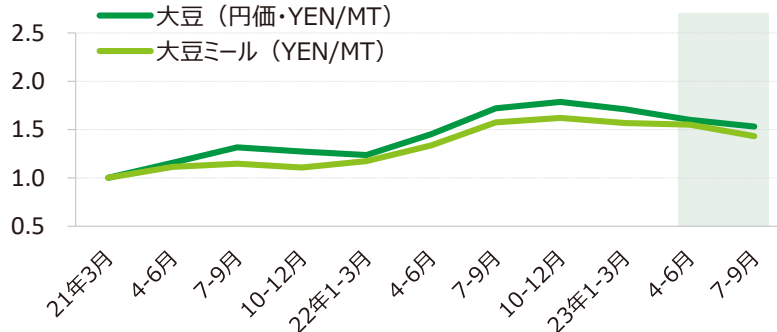
原料・為替状況※1

	22'1Q		22'2Q		22'3Q		22'4Q		23'1Q		23'2Q		23'3Q		23'4Q	
	結果	前年差	結果	前年差	結果	前年差	結果	前年差	結果	前年差	結果	前年差	結果	前年差	11/9修正予想前提	前年差
大豆 ¢/Bu※2	1,559.0	+167.4	1,684.2	+186.9	1,530.0	+171.4	1,433.4	+179.1	1,508.7	▲50.3	1,432.8	▲251.4	1,408.6	▲121.4	1,284.4	▲149.0
菜種C\$/MT※3	1,057.3	+319.6	1,123.3	+258.6	835.9	▲49.5	871.7	▲122.0	815.4	▲241.9	733.6	▲389.7	782.4	▲53.5	698.2	▲173.5
ミルリ-%	57.0	▲6.8	52.3	▲3.6	58.0	+4.8	54.8	±0.0	61.8	+4.8	61.5	+9.2	56.2	▲1.8	59.3	+4.5
海上運賃us\$/t※4	77.8	+19.6	85.4	+17.0	69.5	▲20.1	58.6	▲23.8	51.5	▲26.3	53.7	▲31.7	53.7	▲15.8	57.7	▲0.9
為替レート※5	117.3	+10.3	130.7	+20.2	139.4	+28.3	142.5	+27.8	133.5	+16.2	138.5	+7.8	145.6	+6.2	150.6	+8.1

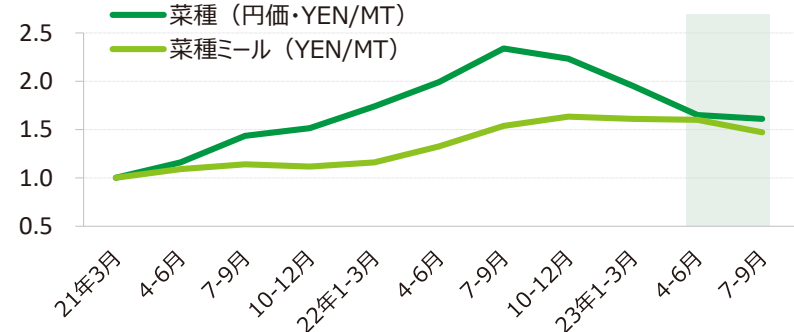
※1: 搾油原料の買付けは基本的に約3カ月前の時点にて行っており、本図では各期の業績に影響のある期間相場の平均値を示しています ※2: シカゴ相場 ※3: ウィネベグ相場 4Qは10/1以降の平均値 ※4: US Gulf-Japan PANAMAX ※5: 為替TTSレート

原料価格推移

大豆・大豆ミール



菜種・菜種ミール



※2021年3月を1として算出

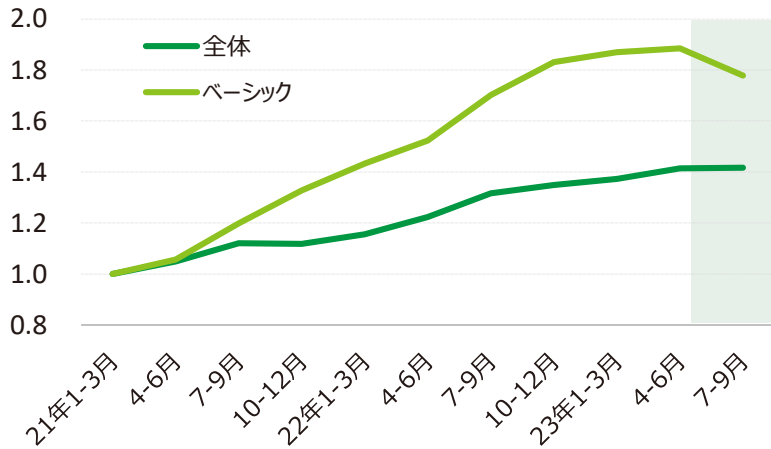
価格改定状況

油脂製品の価格改定状況

改訂日	対象および額/改定幅	改訂日	対象および額/改定幅
2021/4/1	家庭用/業務用/加工用油脂 30円/kg 以上	2022/4/1	家庭用/業務用/加工用油脂 40円/kg以上※2
2021/6/1	家庭用/業務用/加工用油脂 30円/kg 以上	2022/7/1	家庭用/業務用/加工用油脂 60-400円/kg以上※3
2021/8/2	家庭用/業務用/加工用油脂 50円/kg 以上	2023/10/2	家庭用/業務用オリーブオイル製品 14-57%
2021/11/1	家庭用/業務用/加工用油脂 30円/kg 以上	* 2023/4/1より家庭用、業務用のオリーブオイル、ごま油、こめ油などの条件圧縮を実施 * 2024/1/5より家庭用、業務用のごま油の条件圧縮を実施予定 ※1: 菜種油脂製品のみ対象 ※2: 2022/2/1に改訂した菜種油脂製品を除く全商品対象 ※3: 全商品対象	
2022/2/1	家庭用/業務用/加工用油脂 40円/kg以上※1		

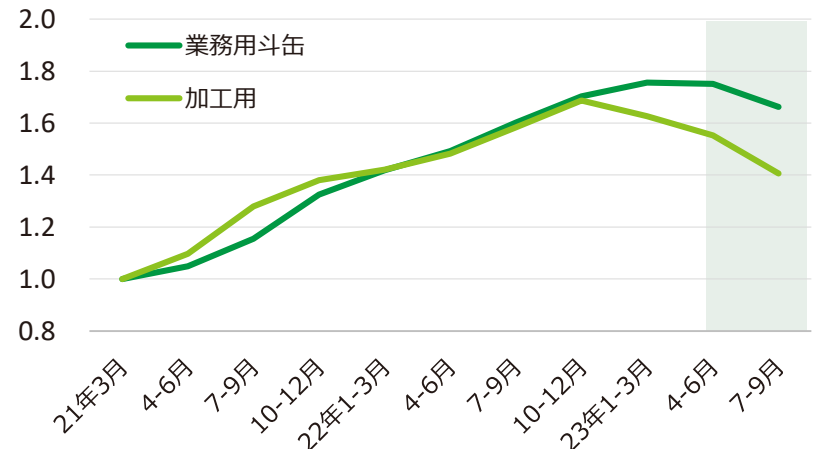
価格改定推移

家庭用油脂製品



2021年1-3月を1として算出
出典：INTAGE (SRI+ 油脂市場:2021年1月～2023年9月)

業務用油脂製品

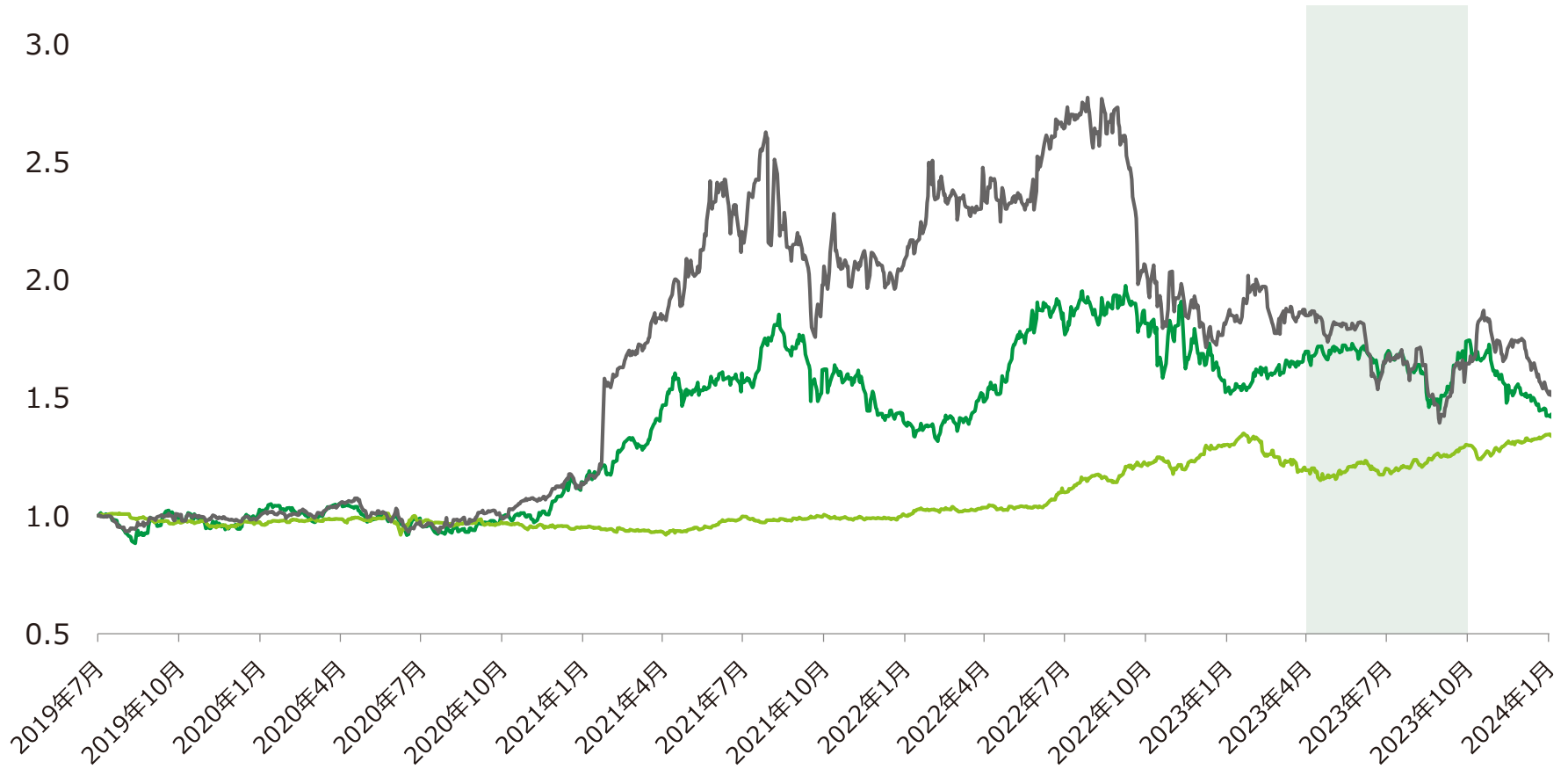


2021年1-3月を1として算出
出典：日経相場情報

大豆、菜種、為替(米ドル)の相場動向

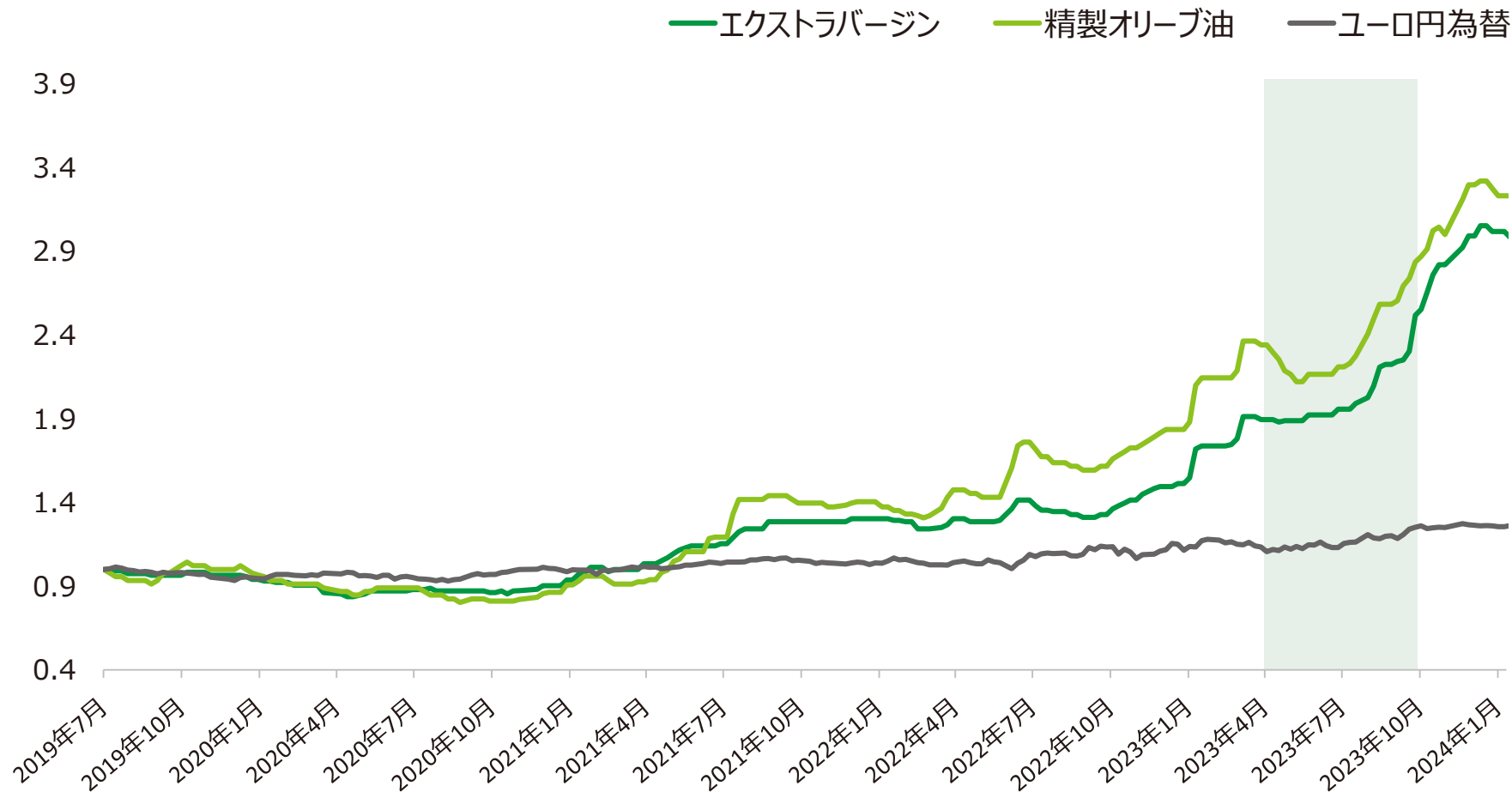
* 原料調達状況に近づけるため、相場データを3ヶ月ずらして表示(2019年4月を1とする(図中では2019年7月を1となる))

— シカゴ大豆 — 東京円為替 — ウィネペグ菜種 (US\$ベース)

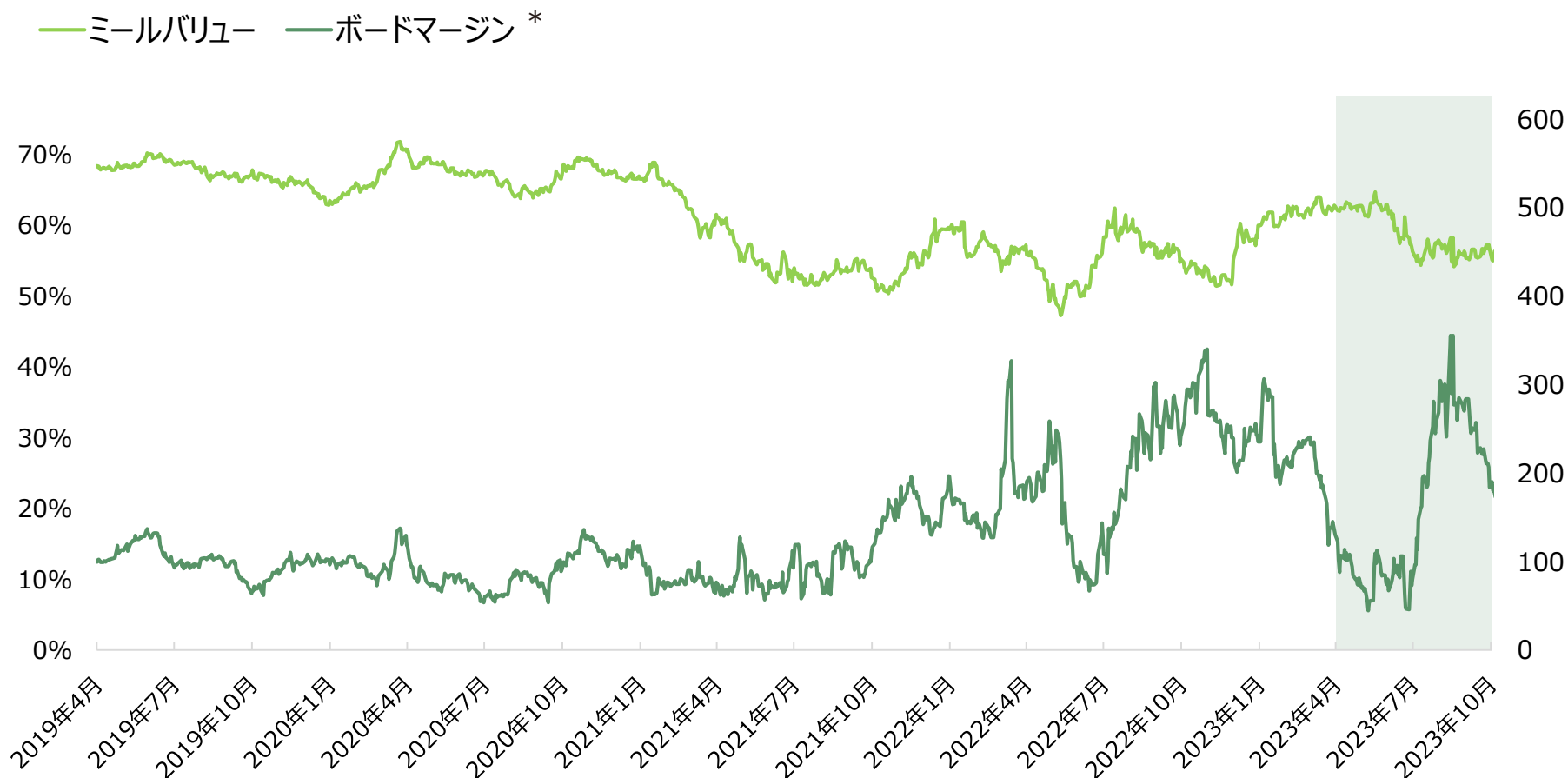


オリーブ、為替(ユーロ)の相場動向

*原料調達状況に近づけるため、相場データを3ヶ月ずらして表示(2019年4月を1とする(図中では2019年7月を1となる))



ミールバリューの動向



* シカゴ大豆定期 1 ブッシェルから産出する大豆油と大豆ミールの価値の合計と大豆 1 ブッシェルの価格の差



JOYL

Joy for Life